

第24回 最先端医療イノベーションセンター 定例セミナー

日時：2019年6月7日（金）18：00～19：00

場所：最先端医療イノベーションセンター棟 1F マルチメディアホール

演題・講師：

○演題：ロート製薬(株)の再生医療等製品の研究開発

講師：西田 浩之 先進幹細胞治療学共同研究講座 共同研究員

ロート製薬株式会社 再生医療研究企画部阪大 CP グループ リーダー

要旨：ロート製薬株式会社は、製品開発で培ってきた細胞培養技術と点眼薬の無菌製剤技術を基礎として、他家脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた再生医療等製品の開発を2013年より進めている。本セミナーでは、弊社の再生医療への取り組みに加えて、先進幹細胞治療学共同研究講座の設立の目的及び進捗を紹介する。

○演題：間葉系幹細胞を用いた、重症虚血性心筋症に対する細胞療法の開発

講師：森 大輔 先進幹細胞治療学共同研究講座 特任助教

要旨：我々は重症心筋症に対する次世代の治療法の開発をすすめている。保険収載され、すでに臨床応用されている骨格筋筋芽細胞シート治療の経験をもとに、細胞種を間葉系幹細胞とただけではなく新たな移植方法の開発も行っている。我々のこれまでの研究成果を細胞治療のメカニズムを交えながら発表する。

座長：秦 広樹 先進幹細胞治療学共同研究講座 特任准教授

◇最先端医療イノベーションセンター 研究開発プロジェクトについて

(最先端医療イノベーションセンターHPより抜粋)

・「同種間葉系間質細胞の臨床応用に向けた研究開発」

(A-8プロジェクト)

再生医療には、自家細胞移植、他家細胞移植、さらには動物由来である異種細胞移植が考えられます。各々に利点と欠点がありますが、本講座では、産業化を考慮して、他家細胞移植である同種間葉系間質細胞を用いた再生医療に着目しております。ストック可能な他家細胞は、事前に解析することで安全性と有効性の確保が可能と考えられますが、間葉系間質細胞には多くの機能があることから、最適な指標が確立されておりません。そこで、対象疾患ごとに作用メカニズムを解明し、細胞の規格設定と管理方法の最適化並びに製剤化を目指します。これにより、細胞製剤を従来の医薬品のように提供するための基盤技術を確立し、臨床応用の加速化に寄与します。